

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	囲い櫓修繕を通じた下清内路花火の伝統伝承プログラム
事業主体 (連絡先)	下清内路区会 (下清内路区長、櫻井 彰八 (TEL: 0265-46-2752))
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業 (1) 地域協働の推進に関する事業 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	2,041,200円 (うち支援金: 1,530,000円)

事業内容

- 小学生2年生以上を対象に囲い櫓の歴史、囲い櫓の修繕方法の見学会を開催。
- 阿智村大工関係者、村民、村外一般者を対象とした囲い櫓の歴史と文化の説明及び文化財の修繕技術の見学会、講習会を開催。



【囲い櫓修繕完了写真】

【目標・ねらい】

- 次世代への伝統継承
- 伝統技術の継承 (文化財修繕)
歴史と伝統文化の継承と維持
- 区民及び村内外へ地域資源の継承

※自己評価【B】

【理由】

伝統花火 (奉納煙火) 対する区民の理解と協力を得て、伝統の手づくり花火が盛大に実施できた。また若者の花火製造参加者、見学者も増加した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 少子高齢化が進む中、小学生への囲い櫓、伝統花火の歴史と文化及び修繕方法の見学会実施により、次世代への伝統文化の継承に繋がる。
- 大工関係者への修繕方法の実演により、伝統技術の継承に繋がる。地区及び村内外の見学者への伝統花火の歴史と文化の説明により、理解と伝承できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

少子高齢化、及び地域外、村外に出て働く人が増加する状況下で、今後も下清内路地域の伝統である「手づくり花火」の囲い櫓を中心とした設備と環境整備を推進すると共に村内外との交流を深め、後継者である若者にとって魅力ある伝統花火を理解してもらえるような活動をおこない伝統芸能の維持発展に努める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある